

# 2020年3月期 決算補足説明資料

2020年6月10日

(証券コード6381 東証1部 機械)

## 2020年3月期 決算実績

要約  
 売上：39,091百万円（前年同期比 284百万円 +0.7%）  
 営業利益：3,876百万円（前年同期比 -463百万円 -10.7%）

## エアエナジー事業

要約  
 売上：22,224百万円（前年同期比 -829百万円 -3.6%）  
 <ご参考値>  
 営業利益 約 1,774百万円（営業利益率 8.0%）

## コーティング事業

要約  
 売上：16,866百万円（前期比 1,113百万円 +7.1%）  
 <ご参考値>  
 営業利益 2,101百万円（営業利益率 12.6%）

（注）事業別営業利益は当社グループ独自の基準により算定。

	2019年3月期		2020年3月期		前年同期比		
	実績 (百万円)	利益率 (%)	実績 (百万円)	利益率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	利益率 変化 (P)
売上高	38,807	—	39,091	—	284	0.7	—
営業利益	4,339	11.2	3,876	9.9	-463	-10.7	-1.3
経常利益	4,701	12.1	4,401	11.3	-300	-6.4	-0.8
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,947	7.6	2,717	7.0	-229	-7.8	-0.6
平均為替レート 円/\$	110.43 (実績)		109.05 (実績)		1.38 円/\$の円高		
平均為替レート 円/€	130.42 (実績)		122.07 (実績)		8.35 円/€の円高		
平均為替レート 円/RMB	16.72 (実績)		15.78 (実績)		0.94 円/RMBの円高		

2019年11月11日に 発表した予想値対比	
予想値 (百万円)	進捗率 (%)
39,000	100.2
3,800	102.0
4,000	110.0
(通期)2,400	113.2

(%) (P) は少数点以下第2位を四捨五入

売上高は 0.7%の増収      営業利益は 10.7%の減益  
 経常利益は 6.4%の減益      当期純利益は 7.8%の減益

増収・減益となりました。

# 2020年3月期3Q 連結業績 損益計算書

	2019年3月期		2020年3月期		前年同期比		
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	構成比率 変化 (P)
売上高	38,807	—	39,091	—	284	0.7	—
売上原価	22,030	56.8	22,505	57.6	474	2.2	0.8
売上総利益	16,777	43.2	16,586	42.4	-190	-1.1	-0.8
販売管理費	12,437	32.0	12,710	32.5	272	2.2	0.5
営業利益	4,339	11.2	3,876	9.9	-463	-10.7	-1.3
営業外収益	659	1.7	750	1.9	91	13.8	0.2
営業外費用	297	0.8	225	0.6	-72	-24.3	-0.2
経常利益	4,701	12.1	4,401	11.3	-300	-6.4	-0.9
特別利益	62	0.2	59	0.2	-2	-4.8	0.0
特別損失	183	0.5	246	0.6	63	34.6	0.2
税金等調整前 純利益	4,579	11.8	4,213	10.8	-366	-8.0	-1.0
法人税等	1,236	3.2	1,165	3.0	-70	-5.7	-0.2
非支配株主に帰属する 四半期純利益	395	1.0	330	0.8	-65	-16.6	-0.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,947	7.6	2,717	7.0	-229	-7.8	-0.6
平均為替レート円/\$	110.43	(実績)	109.05	(実績)	1.38	円/\$の円高	
平均為替レート円/€	130.42	(実績)	122.07	(実績)	8.35	円/€の円高	
平均為替レート円/RMB	16.72	(実績)	15.78	(実績)	0.94	円/RMBの円高	

2019年11月11日に 発表した予想値対比	
予想値 (百万円)	進捗率 (%)
39,000	100.2
3,800	102.0
4,000	110.0
(通期) 2,400	113.2

① 売上高：前年同期比+284百万円。前期に連結子会社化したイタリア及び台湾の子会社による影響額は+251百万円。為替変動による影響額は-1,009百万円

② 売上原価：前年同期比原価率は+0.8P

③ 販売管理費：前年同期比+272百万円（販管費率+2.2P） 上記①の新連結会社分としては+53百万円

④ 営業外収益/費用：持分法による投資利益の増加+7百万円、前年同期比為替差損+43百万円（43百万円の利益減少）

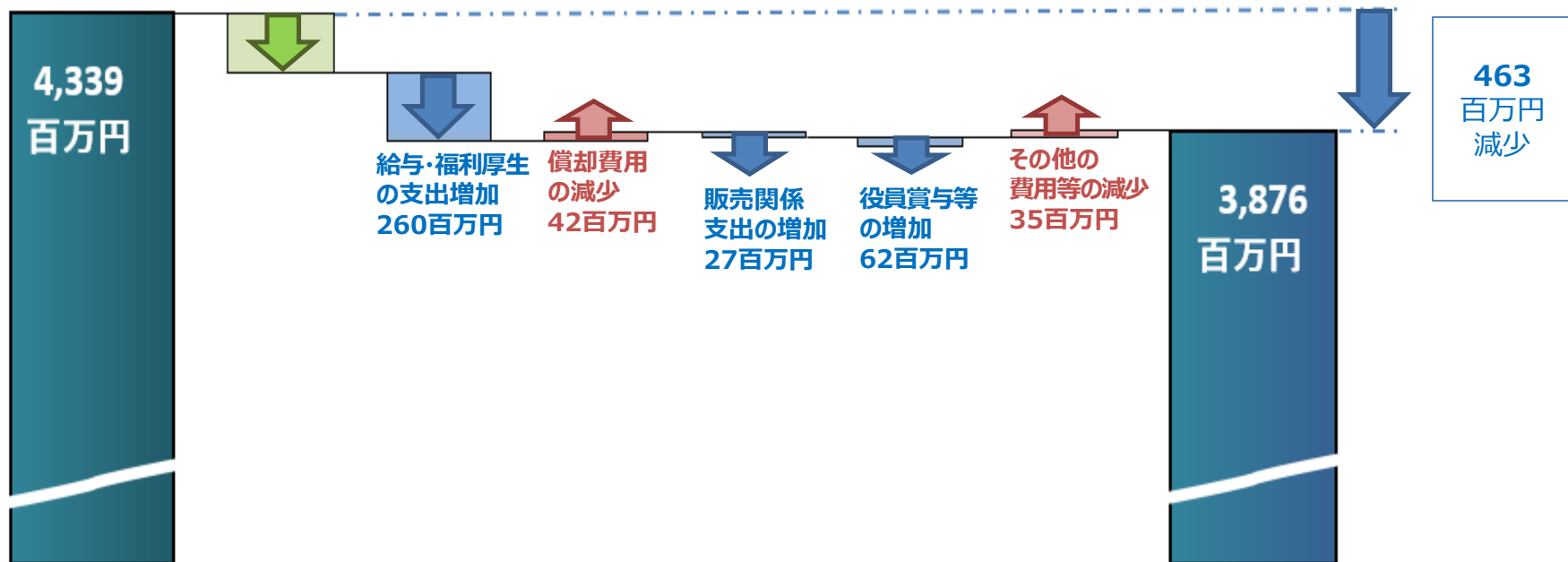
記載している数値は、前期対比の増減額

利益押し上げ要因

利益押し下げ要因

- ・塗装設備の販売拡大により商品ミックスに変動が生じたことなどに起因して原価率が微増したことによる売上総利益の減少
- ・100年企業に向けた継続的な人財投資による費用の増加
- ・償却費用は減少。のれんの償却額：272百万円（前期比+4百万円）
- ・新たに導入した業績連動型株式報酬に係る費用の発生を含む役員賞与等の増加

売上総利益の減少  
(売上 - 原価)  
190百万円



2018年度  
営業利益4,339百万円

463百万円 減少

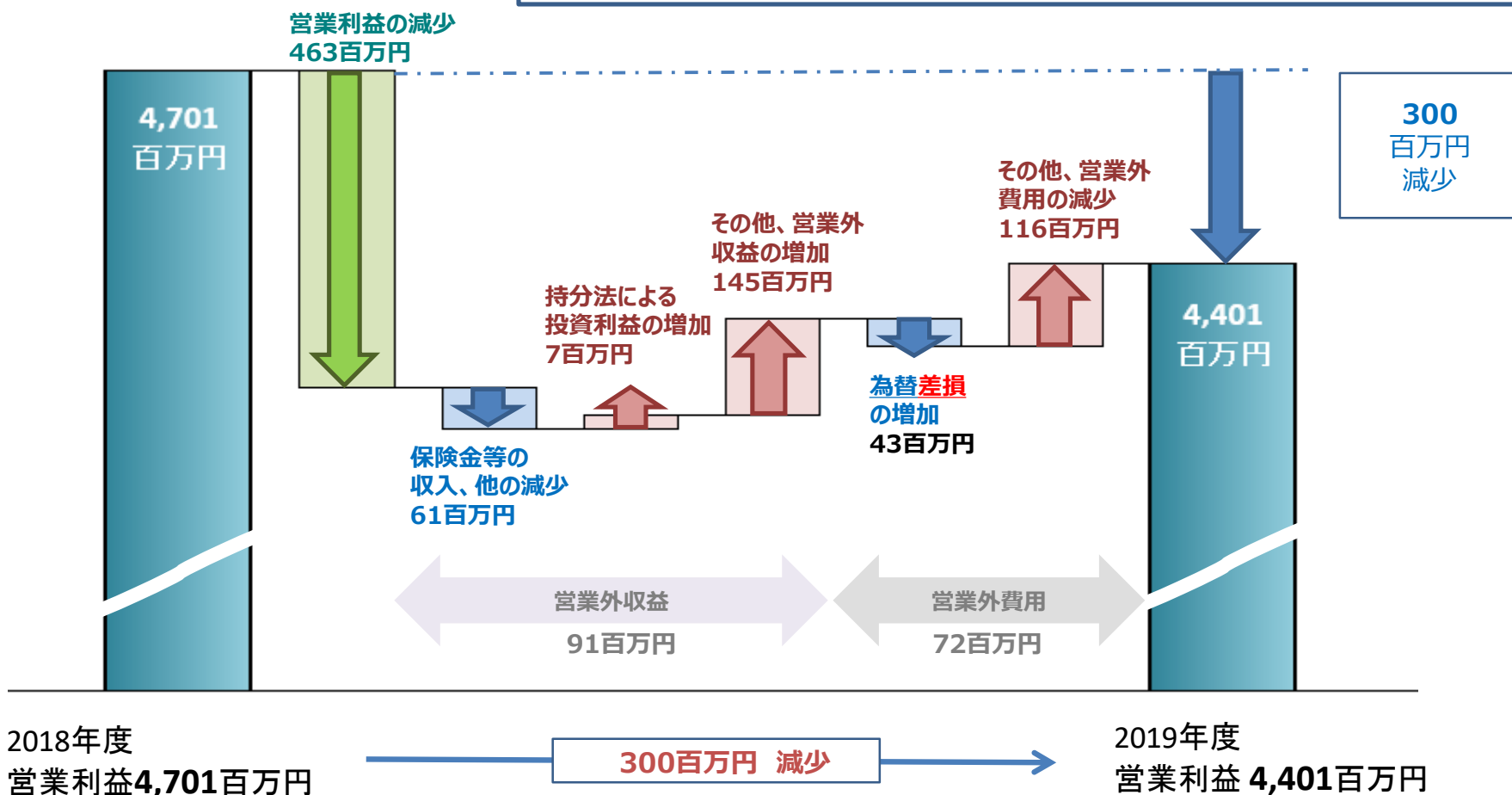
2019年度  
営業利益 3,876百万円

記載している数値は、前期対比の増減額

利益押し上げ要因

利益押し下げ要因

- ・その他、営業外収益 助成金収入の増加 (+134百万円)
- ・前期に計上した、イタリアの子会社再編に関する費用が無くなったことによる  
その他、営業外費用の減少



# 2020年3月期 連結業績 売上高 製品別

		2019年3月期		2020年3月期		前年同期比 増減	
		売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
エアエナジー 事業	圧縮機	21,212	54.7	20,669	52.9	-543	-2.6
	真空機器	1,841	4.7	1,554	4.0	-286	-15.6
小計		23,053	59.4	22,224	56.9	-829	-3.6
コーティング 事業	塗装機器	13,107	33.8	12,832	32.8	-274	-2.1
	塗装設備	2,645	6.8	4,034	10.3	1,388	52.5
小計		15,752	40.6	16,866	43.1	1,113	7.1
合計		38,807	100.0	39,091	100.0	284	0.7

(注) 日本とインドの期末は3月、他地域は12月であり、他地域の連結は3か月遅れの期ズレが発生。



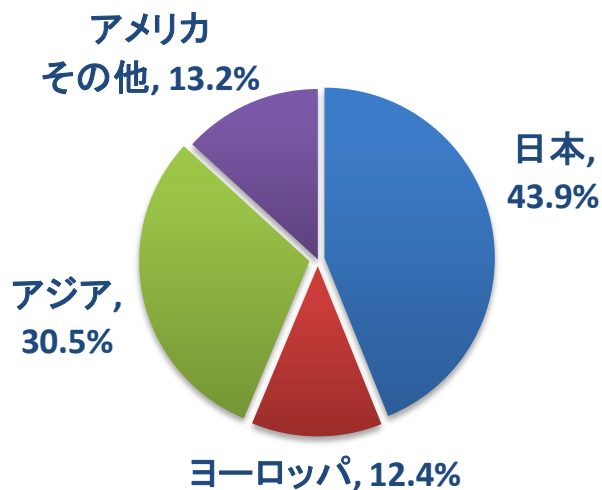
## エアエナジー事業

- ・圧縮機：小形汎用圧縮機の販売が伸びず、ヨーロッパを除くエリアで減少
- ・真空機器：装置メーカー開拓が進展しその他地域に含まれるアメリカで増加も、そのほかのエリアでは減少傾向が続く

## コーティング事業

- ・塗装機器：米中貿易摩擦の影響を受けた需要の低迷などにより、アジアを主として全てのエリアで減少
- ・塗装設備：主に自動車部品市場への納入により、日本が牽引して全エリアで大幅に伸長

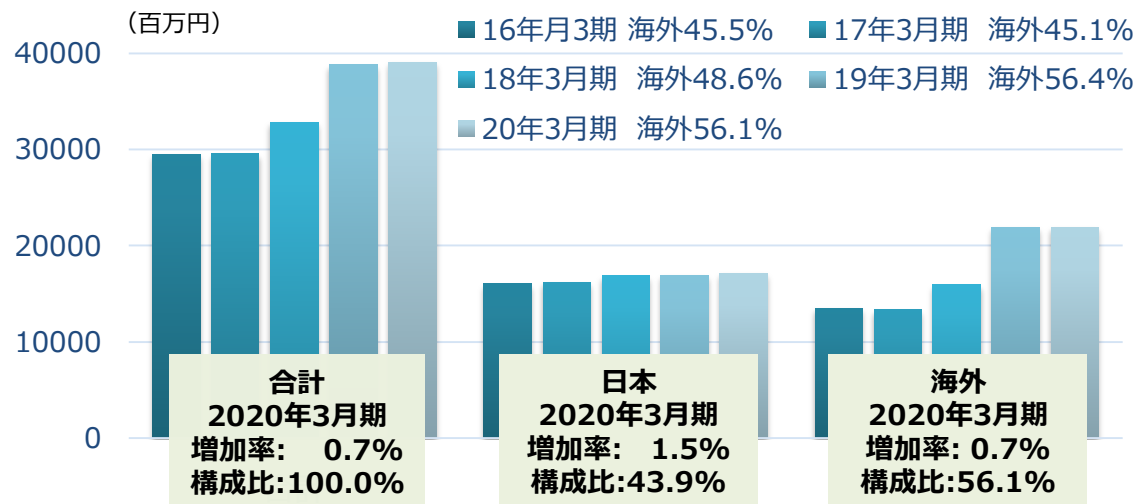
## 売上高の地域別構成比



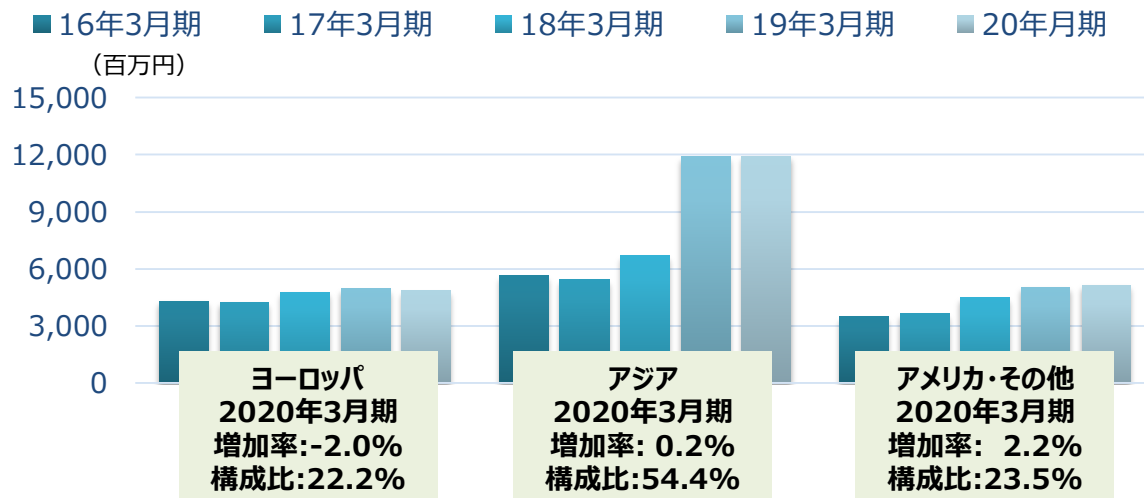
\* 海外の売上高比率は、前年比で0.3P減少  
\* 売上高については、日本は増加。  
海外ではヨーロッパが減少するも、それ以外の地域で伸長。

(注) 納入地ベースでの実績換算。

## ● 日本と海外の売上高推移



## ● 海外の売上高推移 (合計を100とする)





# 2020年3月期 連結業績 売上高 製品/地域別の増減

	全体	エアエナジー事業		コーディング事業	
		圧縮機	真空機器	塗装機器	塗装設備
日本	1.5%	▼	×	▼	◎
ヨーロッパ	-2.0%	△	×	▼	-
アジア	0.2%	▼	×	●	◎
北米その他	2.2%	●	◎	▼	◎
海外 計	0.2%	▼	×	▼	◎
計	0.7%	▼	×	▼	◎

◎ 10%～

△ 0%～3%

○ 3%～10%

▼ 0%～-3%

● -3%～10%

× -10%

(注) 納入地ベースでの実績換算。

(百万円)	2019年3月期	2020年3月期	増減金額	前年同期比
日本	16,914	17,161	246	1.5%
ヨーロッパ	4,962	4,865	-97	-2.0%
アジア	11,898	11,920	21	0.2%
北米その他	5,031	5,143	112	2.2%
合計	38,807	39,091	284	0.7%

- 日本では、世界経済の減速を受けて販売活動が縮小したほか、真空機器製品において当年度初期から継続する半導体市場の停滞感を払拭できず売上が減少。一方で塗装機器製品に含まれる塗装ブースや塗装設備製品の受注、販売が好調に推移しており、全体的な売上増加に貢献。
- ヨーロッパでは、真空機器製品における装置メーカー開拓や塗装機器製品のプロモーション活動に注力。全体としては、真空ポンプのOEM供給先の需要減少の継続などの影響により売上は減少。
- アジアでは、インド及び東南アジアの自動車生産市場の減速を受けた塗装機器製品の売上減少などがあったものの、自動車部品や木工品製造向け塗装設備の受注を獲得し、全体としてはほぼ横ばいに推移。
- 北米その他では、真空機器製品における米国内の装置メーカーや大型研究施設を対象とした顧客開拓活動が奏功し売上が増加したほか、メキシコにて自動車部品製造向けの大型塗装設備の受注・納入があったことなどにより、売上が伸長。

		2019年3月期実績		2020年3月期実績		2021年3月期予想値	
		実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	目標額 (百万円)	構成比 (%)
<b>売上高</b>		38,807	100.0	39,091	100.0	30,000	100.0
内訳	圧縮機	21,212	54.7	20,669	52.9	—	—
	真空機器	1,841	4.7	1,554	4.0	—	—
	エアエナジー事業	23,053	59.4	22,224	56.9	17,150	57.2
	塗装機器	13,107	33.8	12,832	32.8	—	—
	塗装設備	2,645	6.8	4,034	10.3	—	—
	コーティング事業	15,752	40.6	16,866	43.1	12,850	42.8
<b>営業利益</b>		4,339	11.2	3,876	9.9	500	1.7
内訳	エアエナジー事業	—	—	1,774	4.5	180	0.6
	コーティング事業	—	—	2,101	5.4	320	1.1
<b>経常利益</b>		4,701	12.1	4,401	11.3	800	2.7
<b>親会社帰属当期純利益</b>		2,947	7.6	2,717	7.0	650	2.2
平均為替レート 円/\$		110.20	(実績)	109.05	(実績)	105.00	(想定)
平均為替レート 円/€		125.15		122.07		115.00	
平均為替レート 円/RMB		16.72		15.78		15.00	

※配当について：2020年3月期末配当は6月25日の第74期定時株主総会で正式に決定予定。2021年3月期は予想値。

配当 中間期+期末 = 年間	11円 + 11円 = 22円	12円 + 12円 = 24円	10円 + 10円 = 20円
----------------	-----------------	-----------------	-----------------

## 売上見通しについて

- 日本：特に圧縮機では汎用市場向け製品の割合が多いことや塗装設備は年度後半の見通しが不透明なことから、各事業について年度の後半にかけての回復を見込むも、前年比▲30%程度と推測。
- アジア：中国は既に回復傾向に移行と見るも、通期では前年に届かず。インド、アセアンの回復には時間を要するものと考え前年比▲20%程度と推測。
- ヨーロッパ：第2四半期以降の回復には時間を要するものと考え、前年比▲20%程度と推測。
- 北米その他：医療向け圧縮機製品の販売は好調に推移すると見込むも、ヨーロッパ同様に前年比▲20%程度と推測。

## 営業利益見通しについて

従業員の雇用堅持を基本とし、前期繰り越しとなったIT関連への積極的投資の実施、売上の減少に伴う生産調整による売上原価率の上昇などを加味し推測。

- ・メイン投資と位置付けたIT投資は、慎重な議論を重ね実施内容と時期を次年度へ持ち越し。

	設備投資額 (百万円)	売上対比 (%)	減価償却 (百万円)	売上対比 (%)	研究費開発 (百万円)	売上対比 (%)	売上高 (百万円)
2019年3月期 (実績)	<b>2,080</b> (計画値 2,500)	<b>5.4</b>	<b>1,618</b> (計画値 1,400)	<b>4.2</b>	<b>1,154</b> (計画値 1,200)	<b>3.0</b>	<b>38,807</b>
	実行率	<b>83.2%</b>	実行率	<b>115.6%</b>	実行率	<b>96.2%</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種工作機械、自動化設備等</li> <li>・製品開発</li> <li>・秋田、福島工場食堂リニューアル、コミュニケーションラウンジ</li> <li>・本社技術開発研究施設</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続投資</li> </ul>			
2020年3月期 (実績)	<b>1,245</b> (計画値 2,500)	<b>3.2</b>	<b>1,509</b> (計画値 1,800)	<b>3.9</b>	<b>1,084</b> (計画値 1,200)	<b>2.8</b>	<b>39,091</b>
	実行率	<b>49.8%</b>	実行率	<b>83.8%</b>	実行率	<b>90.3%</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種生産設備導入</li> <li>・製品開発</li> <li>・本社基幹システム用サーバーの更新</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続投資</li> </ul>			
2021年3月期 (計画)	<b>2,000</b>	<b>6.7</b>	<b>1,400</b>	<b>4.7</b>	<b>900</b>	<b>3.0</b>	<b>30,000</b> (予想)

注) 研究開発費：研究開発に係る一般管理と製造経費の合計値

# 減価償却、のれん代償却、EBITDAなど

- ・ のれん代は増加（+4百万円）も、減価償却費は2018年度末でSAPの償却完了などにより減少
- ・ 前期までに連結子会社化した子会社に関するのれんの償却は着実に進むも、アネスト岩田オーストラリアは当初の見通しに対して業績に乖離が見られることからのれんの減損処理を実施。

## EBITDAは営業利益の影響から減少を見込む

(百万円)	営業利益	有形固定資産の 減価償却	のれんの償却	EBITDA
2019年3月期	4,339	1,618	268	6,225
2020年3月期	3,876	1,509	272	5,657
2021年3月期（予）	500	1,400	196	2,096

## のれん代の償却見込み

社名	事業譲受 持分取得日時	取得価格	取得時点での のれん残高	償却年数	償却額見込 (年間)
アネスト岩田オーストラリア (事業譲受)	2016.11	421	337	5	67.4
H&S (ドイツ)	2017.01	494	469	6	78.2
SCR (中国)	2017.12	2,443	831	10	83.1
アネスト岩田イタリア	2018.04	282	159	9	17.7
ANEST IWATA SPARMAX (台湾)	2018.07	482	351	10	35.1

## 配当

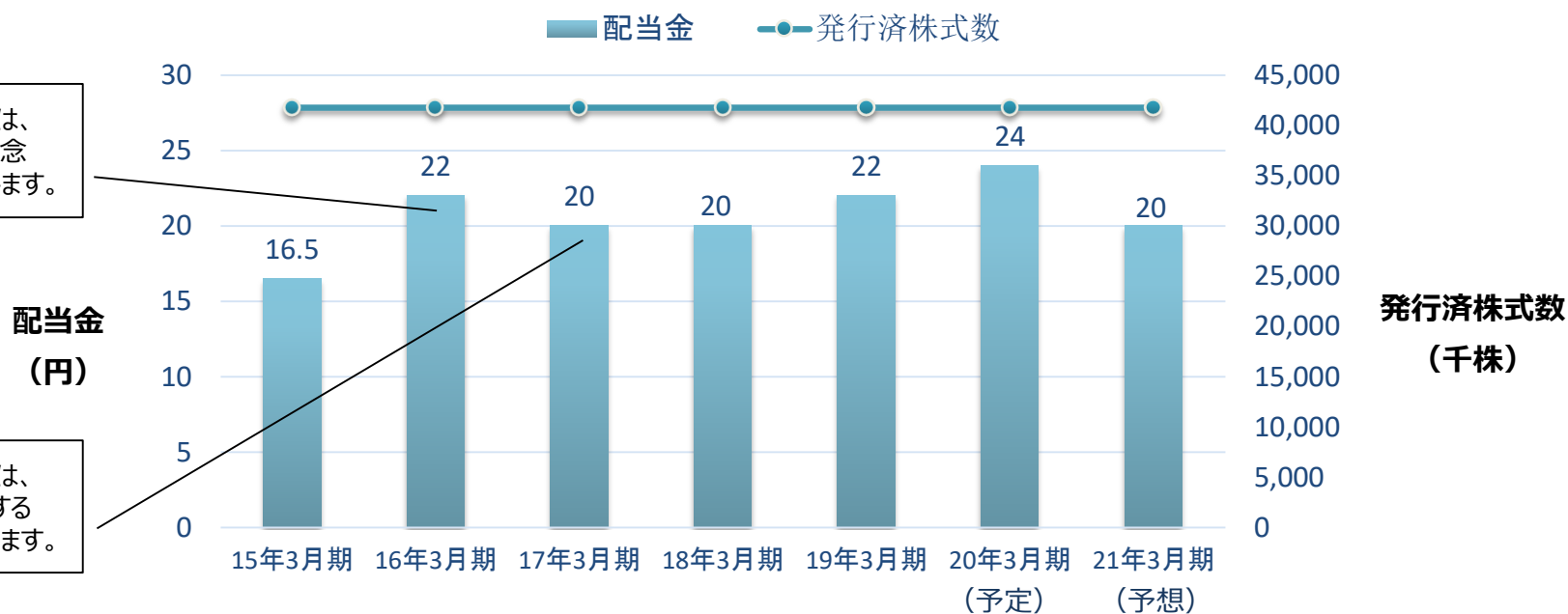
当社は、株主の皆様へ安定的な利益還元を努めることを重要な使命とし、安定した配当の実施を基本方針としています。

### 基本方針

配当性向30%以上を基準とし、最低でも1株当たり年間3円以上の配当を基準とする。

当期末の配当は、1株当たり12円を予定しており、**年間では24円**を予想しております。なお、配当は、6月25日開催予定の第74期定時株主総会の決議により正式決定されます。

### ■ 配当金と発行済株式数(自己株式を除く)の推移



2020年3月期（第74期）定時株主総会にて行う事業報告につきまして、動画によるご説明資料も準備いたしました。

新型コロナウイルス禍の影響につきましても記載しておりますので、是非ともご覧いただきたく、宜しくお願い申し上げます。

下記URL並びにQRコードより、ご確認いただけます。

[https://www.anest-iwata.co.jp/2020\\_anestiwata.html](https://www.anest-iwata.co.jp/2020_anestiwata.html)



## 将来見通しに関する記述、及びその他の注意事項

本資料で述べられております当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。世界経済、為替レートの変動、業界の市況、設備投資の動向など、当社業績に影響を与えるさまざまな外部要因がありますので、資料に記載の内容とは異なる可能性があることをご承知おきください。

また、資料は投資家の皆様への情報伝達を目的としており、当社の株式、その他の有価証券等の売買等を勧誘又は推奨するものではありません。